

令和3年11月2日

(事務担当)

伝統産業振興室 加藤

TEL:076-225-1526 (内4489)

いしかわ生活工芸ミュージアム企画展

九谷赤絵細描 一筆と紅柄（べんがら）が描き出すキセキ

取材のお願い

古代色の艶のない落ち着いた赤は品が良く、そして細密に描かれた作品は誰をも虜にするほど美しい。今、九谷赤絵細描は、静かな人気とブームを巻き起こしています。

もともと赤絵は江戸時代に流行した南画の技法を焼き物に絵付けするために考え出された技法で、赤の細密描法に金彩を施したものです。中には色絵をさしたものも多く、文人好みの繊細で品に満ちた作品が数多く作られました。明治から昭和初期にかけては「九谷」と言えば「赤絵」と言われたほど隆盛を極めた時期があり、海外への輸出品としても高い評価を受けました。しかし戦争で輸出などが止まり、多くの職人が廃業に追い込まれました。そうした中でも数人の作家が先人の優れた作品を研究し、赤絵細描の技法を習得し、次代へと繋げました。

この度の企画展では、県内で活躍する赤絵細描に魅せられた重鎮から若手作家までの作品をご紹介します。心躍る華やかなデザインや、赤一色で作りあげる濃淡のグラデーションなど伝統と現代が見事にマッチした‘赤の世界’を作り上げています。是非取材していただきますようお願い致します。

◇タイトル：九谷赤絵細描 一筆と紅柄（べんがら）が描き出すキセキ

◇内容紹介：九谷赤絵細描の重鎮から若手作家合わせて9名の作品を展示し販売します。

◇出展者：織田 恵美、架谷 庸子、林 美佳里、福島 武山、福島 礼子、見附 正康、山本 秀平
山本 芳岳、吉田 純鼓

◇会 期：令和3年11月12日（金）～12月20日（月）※11月18日（木）と12月は毎週木曜日休館
9:00～17:00（最終日は15:00終了）

◇会 場：いしかわ生活工芸ミュージアム1F ギャラリー

◇入 場：無料

◇ワークショップ：「赤絵細描で寅年の置物を作ろう」

あらかじめ下絵を準備した虎の置物に赤絵の小紋を描きます。焼成後（10日後）お渡しします。

日時 12月11日（土）①10:30～12:00 ②13:30～15:00 （所要時間約90分）

料金 4,500円（発送の場合は別途送料） 講師 福島礼子 対象 小学校高学年～

定員 各回6名 場所 いしかわ生活工芸ミュージアム（石川県立伝統産業工芸館）

ご予約はいしかわ生活工芸ミュージアム TEL076-262-2020 まで

〈問い合わせ及び取材申し込み先〉

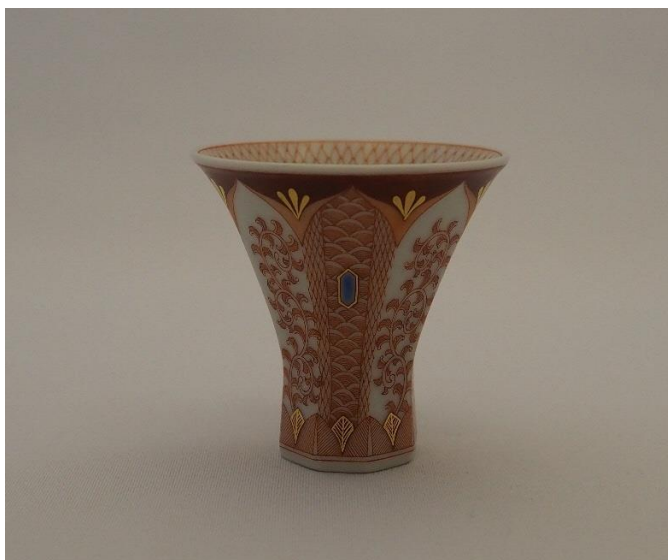
いしかわ生活工芸ミュージアム（石川県立伝統産業工芸館）

金沢市兼六町1-1 TEL076-262-2020

<http://www.ishikawa-densankan.jp> 指定管理者 ナカダ・クラフトプロジェクト

広報担当 E-mail: info@ishikawa-densankan.jp

□企画展「九谷赤絵細描 一筆と紅柄（べんがら）が描き出すキセキ」出展作品フォト



令和3年11月2日

(事務担当)

伝統産業振興室 加藤

TEL:076-225-1526 (内 4489)

いしかわ生活工芸ミュージアム企画展

今年も能登がやってきた！

取材のお願い

伝統産業の宝庫ともいえる能登に息づき、日々進化する伝統工芸の「今」をご紹介する企画展です。昨年に引き続き、また新たな発見に出会える旅となりました。

‘能登の魅力’と一口に言ってもなかなか奥が深く、自然であれ、食物であれ、歴史であれ、芸術であれ、人であれ、そのすべての集合体が「能登は優しや土までも」と形容される所以ではないでしょうか。工芸の分野で見ると、営々と守り抜いた伝統の技や、一時途絶えたものを復活させる等枚挙にいとまがありません。翻って、新しくそこに住まう人々のエネルギーが作品を作り出しているものもあります。暮らし周りで使う様々な石のアイテムや、廃校になった小学校を拠点に挑む型染め、能登島を借景に美味しいご飯が炊ける土鍋づくり等々……。それぞれの地元愛が工芸に生かされ、伝統の上にさらに作家たちのアイデアが現代の生活にも取り入れやすい作品の数々を生み出しています。

日々の暮らしの中で「使える必需品」、ちょっと眺める「心の必需品」を発見していただける企画展です。是非取材していただきますようお願い致します。

◇タイトル：今年も能登がやってきた！

◇内容紹介：能登の風土と共に暮らしの中で生きる工芸品の制作に取り組む作家、企業を作品と共に紹介します。

◇出展者：芝雪（珠洲焼）、中島石材店・中島正士（石材工芸）、能登島独歩炎・藤井博文（陶磁器）
宮崎岳志（型染め）、山口浩美（輪島塗）、山崎麻織物工房（能登上布）

◇会期：令和3年11月12日（金）～12月20日（月）※11月18日（木）と12月は毎週木曜日休館
9:00～17:00（最終日は15:00終了）

◇会場：いしかわ生活工芸ミュージアム2F第4企画展示室

◇入場：有料 大人（18歳以上260円、65歳以上210円）小人（17歳以下100円）未就学児無料

◇ワークショップ：「石川県の石で一輪挿し作り」

四角に成型された石をノミやコヤスケを使って好きな形を作り、一輪挿しにします。

日時 11月21日（日）10:00～、10:30～、11:15～、11:45～、13:00～、13:30～、
14:15～、14:45～、15:30～（所要時間10～25分）

料金 1,000円 講師 中島正士（石工） 対象 小学生以上 定員 各回1～2名

「能登上布でお花のイヤリングを作ろう」

能登上布を使って可愛い小花を作り、イヤリング又はピアスに仕立てます。

日時 11月23日（火・祝）10:00～、11:30～、14:00～、15:30～（所要時間70分）

料金 1,200円 講師 (株)山崎麻織物工房 対象 小学生以上 定員 各回4名

〈問い合わせ及び取材申し込み先〉

いしかわ生活工芸ミュージアム（石川県立伝統産業工芸館）

金沢市兼六町 1-1 Tel076-262-2020

<http://www.ishikawa-densankan.jp> 指定管理者 ナカダ・クラフトプロジェクト

広報担当 E-mail : info@ishikawa-densankan.jp

□企画展「今年も能登がやってきた！」出展作品フォト

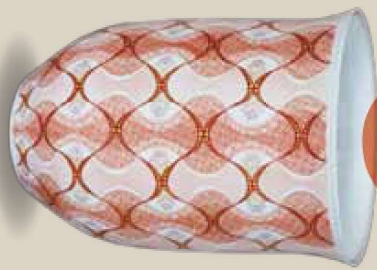


Kutani Awa-e, Red fine



九谷赤絵 細描 - 筆と紅柄の描き出すキセキ -

会場：1F ギャラリー



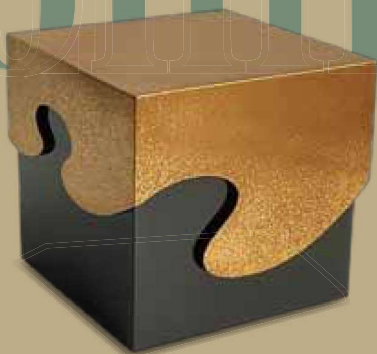
draw/ings

2021.11.12^金 ▶ 12.20^月

NOTO is coming



会場：2F 第4展示室



今年も 能登がやってきた!

again

いしかわ生活工芸ミュージアム
石川県立伝統産業工芸館

ISHIKAWA PREFECTURAL
MUSEUM OF TRADITIONAL ARTS AND CRAFTS

九谷赤絵 細描 - 筆と紅柄で描き出す世界 -

九谷赤絵細描は、今、静かな人気とブームを巻き起こしている焼き物の一つです。明治から昭和初期にかけて九谷と言えば「赤絵」と言われたほど隆盛を極め、「ジャンクタン」の名は輸出品として海外でも名を馳せました。しかし戦争が暗い影を落とし、多くの職人が廃業に追い込まれたのです。そうした中でも数人の作家が、先人の優れた作品を研究し、赤絵細描の技法を習得し次代へと繋げました。赤色顔料のべんがらで1mmの中に3本の線を描くほどの密度と濃淡のグラデーション、視覚効果を利用して赤一色で作品に立体感をもたせるなど、美しく心躍る華やかなデザインで様々な「赤の世界」を作り上げています。九谷焼の歴史にも迫りながら、赤絵細描に魅せられた重鎮から若手作家が描き出す「赤の奇跡」をご堪能ください。

出展者：織田恵美、架谷庸子、林美佳里、福島礼子、見附正康、山本秀平、山本芳岳、吉田純鼓

会場 1Fギャラリー（無料ゾーン） 時間 9:00～17:00（最終日のみ15時まで） 期間 2021年11月12日（金）～12月20日（月）※11月18日（木）、12月毎週木曜日は休館

WS day! — 赤絵細描で寅年の置物を作ろう —
あらかじめ下絵の準備をした寅の置物に赤絵の細線を描きます。
日時 12月11日（土） 10:30～、13:30～（所要時間90分）
参加費 4,500円（別途送料） 講師 九谷赤絵細描作家 福島礼子
対象 小学校高学年以上 定員 各回6名

予約は、いしかわ生活工芸ミュージアム（076-262-2020）まで。当日も空きが有れば飛び入り参加大歓迎！



photo山下美

今年も能登がやってきた！

能登に息づく伝統工芸をご紹介します企画展は昨年に続いての開催となります。今年は伝統的工芸品の輪島塗、珠洲焼、能登上布をはじめ、石材加工や陶芸、染色と多彩なジャンルの作品をお楽しみいただけます。暮らし周りで使う様々な石のアイテムを制作して、更なるアイデアで石材店を継ぐ青年や、能登の自然や精神を焼き物に反映させたいと制作に打ち込む作家、廃校になった小学校を再利用する事がきっかけで能登に移住して制作に取り組む染色作家、130年の歴史を紡ぎ、伝統の手仕事で上質な麻織物を織り、更なる進化を目指す織元等々……。それぞれの地元愛が工芸に生かされ、現代の生活に取り入れやすい作品の数々を生み出しています。「使える必需品」「心の必需品」を発見していただければ幸いです。

出展者：芝雪（珠洲焼）、独歩炎 藤井博文（陶芸）、中島正士（石工）、宮崎岳志（染色）、山口浩美（輪島塗）、（株）山崎麻織物工房（能登上布）

会場 2F第4展示室（有料ゾーン） 時間 9:00～17:00（最終日のみ15時まで）
期間 2021年11月12日（金）～12月20日（月）※11月18日（木）、12月毎週木曜日は休館

WS day! — 石川県の石で一輪挿し作り —
四角に成形された石をノミやコヤスケなどを使って、好きな形に削って一輪挿しを作ります。サイズ10cm×10cm×10cm程度
日時 11月21日（日） 10:00～、10:30～、11:15～、11:45～、13:00～、13:30～、14:15～、14:45～、15:30～
参加費 1,000円 対象 小学生以上 定員 各回2名 講師 中島石材店 中島正士

WS day! — 能登上布でお花のイヤリングをつくらう —
能登上布で可愛い小花のイヤリングまたはピアスを作ります。サイズ：約3cm×2cm
日時 11月23日（火・祝） 10:00～、11:30～、14:00～、15:30～（所要時間70分）
参加費 1,200円 対象 小学生以上 定員 各回4名 講師（株）山崎麻織物工房

予約は、いしかわ生活工芸ミュージアム（076-262-2020）まで。当日も空きが有れば飛び入り参加大歓迎！



体験 PROGRAM

いつでも体験出来ます

※都合により中止となる場合がございます。詳細についてはホームページでご確認ください。

水引ぼち袋



（体験料 / ¥500+入館料）

蒔細工



（体験料 / ¥500+入館料）

組子のコースター



（体験料 / ¥1,000+入館料）

カスタンネット



（体験料 / ¥600+入館料）

【受付時間】

①9:00～11:00 ②13:30～16:00

【所要時間】

いずれも約20分程度

※5人以上で体験希望の場合は3日前までに電話予約をお願い致します。TEL:076-262-2020

※上記の体験はいずれも当館2Fへの入館が条件となっております。入館料は下記をご覧ください。

次回企画展

12/24（金）～3/15（月）

-歴史を紡ぐ郷土玩具-
くまもと・いしかわ
福を呼ぶ ぐりやくさん

★マークは体験あります。

11月	6日（土）	珠洲焼
	7日（日）	珠洲焼
	13日（土）	加賀繡
	14日（日）	加賀繡
	20日（土）	九谷焼
	21日（日）	九谷焼
	27日（土）	和紙 川北 ★
	28日（日）	和紙 川北 ★

12月	4日（土）	加賀象嵌
	5日（日）	加賀毛針
	11日（土）	加賀毛針
	12日（日）	加賀毛針
	18日（土）	檜細工 ★
	19日（日）	檜細工 ★
	25日（土）	九谷焼
	26日（日）	九谷焼 ★

【実演時間】午前10時から午後3時まで（正午から午後1時までには休憩）【実演場所】1階エントランスホール
※日程は変更となる場合がございます。※詳細はいしかわ生活工芸ミュージアムまでお問い合わせ下さい。

いしかわ生活工芸ミュージアム

石川県立伝統産業工芸館 ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF TRADITIONAL ARTS AND CRAFTS

金沢市兼六町1番1号（兼六園小立野口隣り） Tel.076-262-2020 Fax.076-262-8690

開館時間

午前9時～午後5時
（入館は午後4時45分まで）

休館日

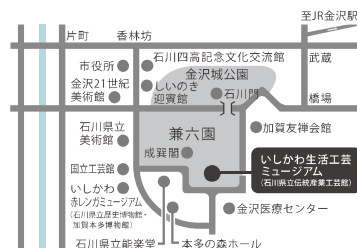
4月～11月 毎月第3木曜日
12月～3月 毎週木曜日および
年末・年始（12/31～1/3）
（祝日の木曜日は除く）

入館料

1階：無料		
2階：有料	個人	団体（30人以上）
大人 18才以上	260円	210円
大人 65才以上	210円	210円
小人 17才以下	100円	80円

交通案内

バス	JR金沢駅より北鉄バス小立野方面行きに乗車約15分。出羽町で下車。徒歩1分。
タクシー	JR金沢駅から約15分。
車	北陸自動車道金沢東または金沢西インターから30分。駐車場有（無料）



HP サイト
http://www.ishikawa-densankan.jp



HP English サイト
http://www.ishikawa-densankan.jp/english



@densankan

